

Vol.8

院長 関の

Face to Face

2009年2月1日発行



この季節になると必ず話題になるのが花粉症です。花粉症は自己免疫機能が過剰に出現した状態です。自己免疫機能が働き、花粉を体外に排出しようとしてくしゃみや鼻水、涙が出ることも自体は正常な防衛反応と言えます。ところが、自己免疫機能にはウイルスや細菌を強力な酸

## 『エアナジー』で早めの花粉症対策



花粉症キャンペーン実施中

化力で無毒化する。活性酸素を出現させる力があります。花粉は毒ではないのに大量に活性酸素を出現させるので、粘膜にある正常な細胞まで破壊し、炎症を起こさせます。また赤血球の細胞膜を破壊し、球形を壊し、弾力性もなくなります。そのため毛細血管の血流も悪くなり、うつ血状態を作ります。

こうやって過剰な自己免疫反応は、自分の体を攻撃する状況を作ります。これがいわゆるアレルギーです。『エアナジー』は空気中の酸素に特定周波数の紫外線を照射し、瞬間的に活性酸素を作り出します。これを鼻から吸い込むことにより体内に取り込み、過剰に増えた活性酸素(毒)と直接結びつき、無害な物質に変化させるわけです。

関 修一(せきしゅういち)  
健育会 東銀座整骨院・鍼灸院・整体院 院長  
代替医療の総合治療院としての確立を目指す  
タイトルの「face to face」は「患者さん自身と向き合って患者さんの症状と戦う」ことを願ってつけた

\* 毎月1日の発行です